

千葉県市川市

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/index.html>

この資料は、公開用としてではなく、自己使用用として、「おにわさん」を基に作成しました。ご参考用として順次改訂して参る所存です。

県コード 25

10 ベイエリア 11 市川 12 船橋 13 習志野 14 八千代 15 四街道 16 千葉 17 浦安
20 東葛飾エリア 21 松戸 22 鎌ヶ谷 23 流山 24 柏 25 我孫子 26 野田
30 北総エリア 31 白井・印西 32 佐倉・佐々井 33 成田・栄・神崎
34 八街・富里・芝山 35 香取・神崎・多古 36 銚子・東庄
40 かずさ・臨海 41 市原・袖ヶ浦 43 木更津・君津・富津
50 南房総エリア 51 南房総 52 館山 53 鴨川・勝浦・大多喜・御宿・いすみ
60 九十九里 61 上総一ノ宮 62 茂原他 65 成東他

10 ベイエリア

11 市川 12 船橋 13 習志野 14 八千代 15 四街道 16 千葉 17 浦安

市川市 11

<https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul01/1511000035.html>

行徳寺町庭園群・徳願寺 家康ゆかりの寺院に見る江戸庭園 船橋市・市川市

<https://teranomachi.jimdo.com/>

東京・大手町から地下鉄で30分のところにある東京のベッドタウン・行徳には、行徳寺町庭園群と呼ばれる寺町があります。徳願寺・妙覚寺・法善寺・清岸寺が、その代表です。

行徳の街は、かつては江戸城に入った徳川家康によって保護された「行徳塩田」という広大な塩田が広がっていました。幕府により整備された「行徳街道」は江戸から成田山を結ぶ「成田道」の一部でもあります。

多くの人が行き交った旧街道は「行徳寺町通り」とも呼ばれ、「加藤家住宅主屋」をはじめとした複数件の国登録有形文化財建築による、車では通れない路地もある街並みが残されています。

寺町といいましても「古い町並み」的な雰囲気漂っているわけではないですが、寺院が

密集しています。

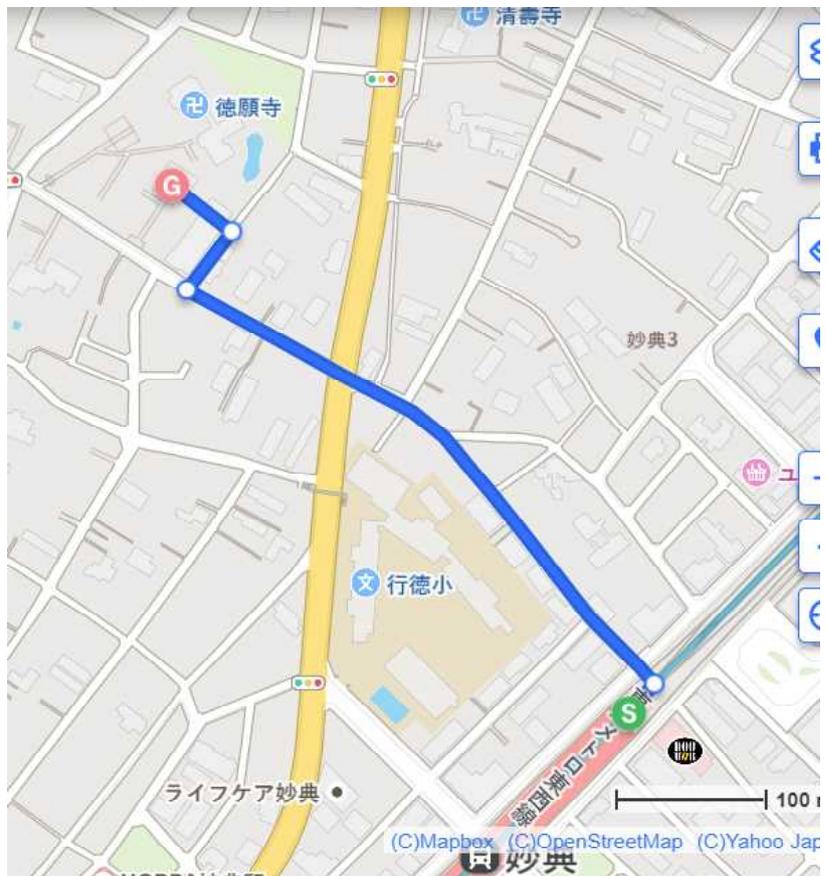


徳願寺（とくがんじ） 徳川家ゆかりで山門、鐘楼堂、経蔵は市川市有形文化財

この界隈で最も大きなお寺「徳願寺」は、1610年に徳川家康の帰依によって『徳願寺』と名乗って開山した寺院です。

本尊の阿弥陀如来像は、源頼朝の正室・北条政子の命で造られたといえます。徳川家康が2代目将軍・徳川秀忠の夫人のために鎌倉から江戸城に遷したものが徳願寺に寄進されました。宮本武蔵の書と伝わる書画や円山応挙の絵画を寺宝として所蔵しています。

現在の本堂は、明治の焼失後に大正時代に再建されたものです。山門と鐘楼は、江戸時代中期に造られたものが残っています。



庭園といいましても、本堂の横に見られる小さなものだけ、庫裏・書院の先に池泉庭園があります。



妙覚寺 (日蓮宗)

池泉庭

1586年創建の日蓮宗寺院。境内には房総にただ1基の珍しい『キリシタン灯籠』がある

本行徳 15-20 047-357-3344

キリシタン灯籠

天正元年（1573）日栄上人が開山した寺院であり、日蓮上人の像を本尊して祀っている、法華経寺の末寺です。瓦葺きの本堂はまだ新しく、植え込みにも手入れが行き届いています。房総で唯一のキリシタン灯籠があります。

仏性山 法善寺 (浄土真宗本願寺派)

本塩 1-25 047-357-2943

慶長5年（1600）宗玄和尚の開基です。この宗玄は河本弥左衛門といって関西の人でした。行徳にきた弥左衛門は海岸や荒地を開拓し、塩田をつくって塩焼の製法を里人に教えました。法善寺が行徳塩の発祥地として「塩場寺（しょばでら）」と呼ばれるのはこのことからです。本堂の前には芭蕉の「うたごふな潮の華も浦の春」の句を刻んだ「潮塚」と呼ばれる句碑があります。これは芭蕉の百回忌を記念して行徳の俳人戸田麦丈などによって寛政9年（1797）に建てられたものです。

西郷隆盛の漢詩掛軸

平成12年の街回遊展では、西郷隆盛の漢詩掛軸（写真）、山岡鉄舟の六曲一双の屏風、天田愚庵の漢詩掛軸などが特別公開されました。

清岸寺 浄土宗

市川市伊勢宿にある浄土宗寺院の清岸寺は、松柏山と号します。清岸寺は、徳願寺不残和尚の弟子忠残上人が開山となり、慶長 15 年（1610）に創建したといひます。行徳・浦安観音霊場三十三ヵ所 20 番札所です。

本尊 阿弥陀如来像

住所 市川市伊勢宿 4-8

長松寺（臨濟宗大徳寺派）

本行徳 8-5 047-357-2241

山号を塩場山（しょばさん）といひます。表札には、「塩場山長松禅寺」とあり、禅宗馬橋万満寺の末寺で、天文年間に開山されました。小さな山門をくぐって境内に入ると、本堂のそばに、六面の六地蔵の石柱が建てられています。これは、山門が鬼門にあたっているため、正面に六地蔵を建てて厄除けにしているものです。「三界萬霊」塔に薬師寺如来像が建ち、山号が塩場山というように、この辺は塩造りに関連した土地であり、かつて塩釜明神が祀られてありました。

照徳山 本久寺（日蓮宗）

本行徳 24-18 047-357-2642

本久寺 日蓮聖人一代記の欄間

法華経寺の末寺で、元亀 3 年（1572）に中山法華経寺第 13 世瑞雲院日暁上人の弟子、本乗院日能上人によって開山されました。一塔両尊（題目塔と釈迦・多宝如来）を本尊として祀っています。

日蓮上人の木像は、身延山第 11 世法主行学院日朝上人（明応 9 年没）の作の日蓮宗にとっても貴重な宝物で、眼病守護日蓮大菩薩として言い伝えられています。

境内は、参道や路石を除いては、芝が植えられ、樹木も多く自然と調和した人を引き入れる魅力をもっているお寺です。

正讚寺（日蓮宗）

本行徳 23-29 047-357-3444

日乗上人が天正 3 年（1575）に創建した寺院で、釈迦如来を本尊とする弘法寺の末寺です。山号は法順山といひます。境内も本堂も小じんまりとしており、訪れる人々にほっとした安

心感を与えてくれる雰囲気をもっています。本堂の前には、大蛇のお告げで地中から掘り出された石仏があります。

飯澤山 浄閑寺 (浄土宗)

本行徳 23-34 047-357-1324

東京都港区芝の増上寺の末寺であり、寛永3年(1626)に鎮誉上人によって創立されました。最初は草庵に等しかったものを代官により、七堂を備える立派な寺院にしたとされています。当時は近くの内匠堀から直接船で入れる池が有名なお寺でした。本尊は阿弥陀仏如来。山門入り口脇には、「南無阿弥陀仏」と六面に刻み、その下にそれぞれ「地獄・飢餓・畜生・修羅・人道・天道」と六道を彫った、高さ2メートルほどの名号石・六面塔がそびえ、半肉彫りの六地藏が並んでいます。これらは、明暦の大火の供養のために建立。ほかに、慶安3年(1650)の萬霊塔、慶安4年の延命地藏が立ち並びます。

海蔵山 徳願寺 (浄土宗)

本行徳 5-22 047-357-2372

徳願寺 伝宮本武蔵筆の達磨画

徳願寺はもと埼玉県鴻巣市にある勝願寺の末寺で、普光院と呼んだ草庵でしたが、徳川家康の帰依によって、徳川の徳と勝願寺の願をとって「徳願寺」と名付け、慶長15年(1610)円誉不残上人を開山として創設されたと伝えています。

本尊の阿弥陀如来像は、北条政子の依頼によって仏師運慶が彫ったものと伝え、当山の2世忠山上人が、江戸城三の丸に安置されていたものを、当寺の本尊として移したものと伝えます。そして、三代将軍家光からは本尊供養料として十石の朱印が与えられています。

徳願寺 伝丸山応挙筆の幽霊画

本寺の山門と鐘楼は共に安永4年(1775)の建造で、山門の仁王像や大黒天像などは明治維新の際、葛飾八幡宮の別当寺であった法漸寺から移したものです。また、当寺には文化4年(1807)江戸深川の永代橋墜落による溺死者の供養塔や、宮本武蔵の遺品を納めたという石地藏などがあります。さらに宮本武蔵筆と伝える書画(上写真は達磨画)、円山応挙筆と伝える幽霊画(下写真)などが寺宝として伝えられています。(※写真は平成12年の街回遊展での特別公開時のものです)

明治4年印旛県庁が一時本寺に置かれたことがあり、また、明治6年には行徳小学校が本寺を仮校舎として設立されました。

妙栄山 妙好寺 (日蓮宗)

妙典 1-11-10 047-357-3304

妙好寺山門

永禄8年（1565）篠田雅楽助清久の外護によって、中山法華経寺11世日典上人の弟子日宣法印を開山に迎え創建しました。篠田家は千葉氏の家臣で永禄7年の国府台合戦には小田原北条氏に味方したので、その恩賞としてこの妙典の地が与えられたと伝えられます。妙典の地名は、法華経の経典が日蓮の唱えた「南無妙法蓮華経」のごとく妙なる経典であるといふところからついた地名です。また船橋市にある法典はもと妙典の人々によって開発された所であるため、妙典と同じく法華経に基づく妙なる法典からつけられた地名です。宝暦11年（1761）日秀上人のとき山門が造営されました。この山門は和様四足門として市内に残る江戸期の貴重な建造物の一つです（市の指定文化財）。隣接する八幡神社本殿の彫刻もまた優れたものです。

そのほか、山門の前にある供養塔は、安政の大地震のもので山門を入り左に妙田地蔵尊、右に観音堂があり、「ごんたくさん」伝説の奥の院があります。

妙応寺

本行徳 2-18 047-357-4834

天正元年（1573）開山した寺院であり、鬼子母神などを祀っています。法華経寺の末寺で、七福神のユーモラスな石仏が出迎えてくれます。

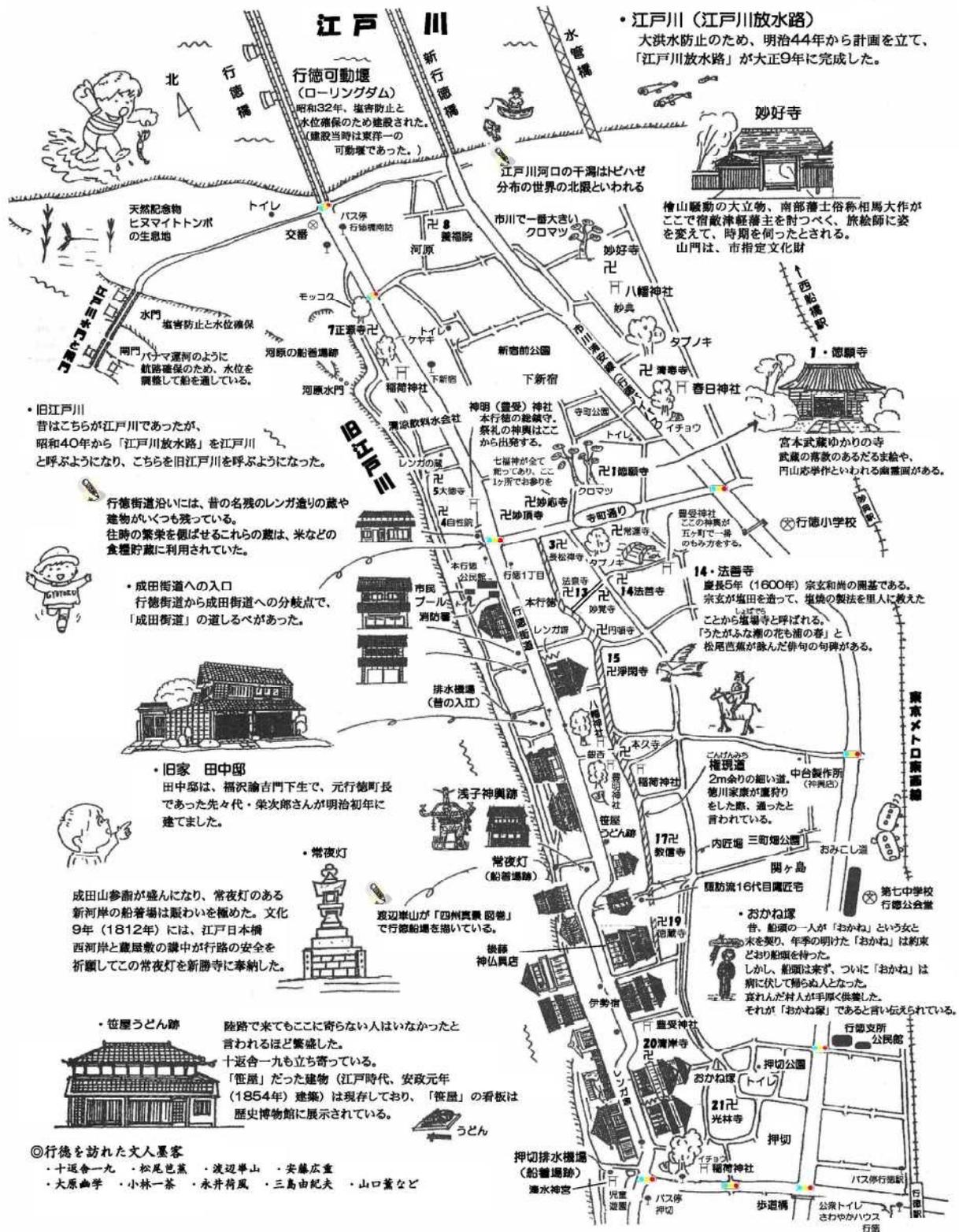
徳蔵寺

関ヶ島 8-10 047-357-1460

行徳寺の神社

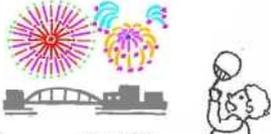
春日神社（妙典3丁目）

春日神社の創建は、境内の灯籠に寛文10年（1671年）とあることから、それ以前の建立ではないかと考えられています。この神社では、3年に1回、10月に町内の家内安全・五穀北条・学業成就を願い、大祭が行われています。この大祭では、雌雄2頭の獅子頭を1頭につき14名の担ぎ手が担ぎ、町内を廻ります。獅子頭の作者は、一説によると行徳で高名な後藤神輿店後藤直光であると伝えられています。



行徳周辺の主な年中行事

- 1月1日～3日 初詣
- 2月3日 節分会
- 2月3日 妙心寺(本行徳)、常運寺(本行徳)
- 4月第1または第2日曜日 行徳三十三観音めぐり
一喜礼所は徳観寺(本行徳)
- 6月30日 湊水神宮祭礼(湊自治会主催)
昔は、この日が初氷の日であったという。
- 7月14日 胡録神社祭礼(湊新田)
- 土用の丑の日 はうらく(寛加持)
- 8月上旬 妙好寺(妙典)
- 8月上旬 市川市納涼花火大会



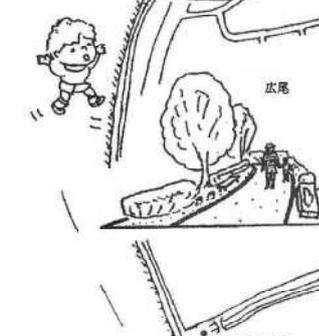
- 旧十五夜(9月中旬～10月上旬) ぜんそく餅じ 清寿寺(関ヶ島)
- 10月8・9日 稲荷神社例大祭(下新宿)
- 9・10日 胡録神社祭礼(関ヶ島) 香取
四ヶ村祭り 香取神社(香取)
(湊、香取、欠真間、湊新田の鎮守)
日枝神社祭礼(相之川)
- 14・15日 八幡神社祭礼(妙典)
- 15・16日 行徳五ヶ町の祭礼
神明社(寛受神社)(本行徳)、
下新宿稲荷神社(下新宿)
- 16・17日 稲荷神社祭礼(押切)
熊野神社祭礼(新井)
春日神社祭礼(下妙典)
- 11月16日 お十夜会
徳観寺(本行徳)
円山応挙作といわれる「幽霊画」や
宮本武蔵作といわれる「だるま絵」の公開
- 12月31日 そろばん餅巻
徳観寺(関ヶ島)
除夜の鐘
善照寺(湊)、源心寺(香取)



昔、江戸川には浦安～関宿間で38ヶ所ほどの渡しがあった。また、江戸時代は戦術上の目的で江戸川に橋を架けなかった。

・江戸川堤ジョギングコース
今井橋から常夜灯まで
延長2,500mある。

・今井の渡し
江戸時代に渡しがあり、
特産の塩などもこの
渡しから積み出された。



・行徳街道
江戸時代に整備されたと言われる街道で、
成田藩の陣路の出発地。
木下街道の起終点として賑わった。
道が3ヶ所曲がるに曲がっているが、
戦術上の目的という。

24・普照寺
「江戸名所図会」に「古刹一口、湊村青嶋山
普照寺といえる淨刹に収蔵せり…」とある。
梵鐘の撞座が4つある特殊な造りの鐘がある。
(人間国宝 香取正彦作)

22・法伝寺
「勝座寺志すくひふね」の著者
新井の名主・鈴木金場の菩提寺
ツツジの花が美しく、「明徳尋常小学校
開校旧跡碑」がある

24・源心寺
田中内匠とともに内匠洞を開創した狩野禪天
ゆかりの寺で、境内には狩野家の六地藏や
狩野禅天大雲の墓がある。(いずれも市指定文化財)

・内匠堀(たぐみぼり)
元和8年頃に田中内匠と狩野禪天により
開削された幅2間ほどの灌漑用水路で、
これにより、行徳、浦安地域の農業が大きく発展した。

内匠堀プロムナード
星をイメージしたせせらぎを造りました

26・了善寺
江戸時代初期における行徳の代官
吉田佐太郎の陣屋跡と言われている

27・新井寺
真水に恵まれないこの地の様子を見た僧が
井戸を掘り、真水が湧き出したことから「新井」
の地名が起ったとされている。

歴史的街並みの散歩道

歩いて楽しい
行徳街道界限 発見マップ
発行 市川市 文化振興課
平成24年8月改訂

寺の前の番号は「行徳三十三観音礼所」の番号です。

c copyright N. Imai All rights reserved

※ <https://www.city.ichikawa.lg.jp/cul01/1441000003.html>

最後